



平成24年臨時総代会開催

平成24年10月25日午前10時 両総土地改良区会議室において、総代174名出席のもと農林水産省関東農政局並びに千葉県農林水産部より多数の来賓にご臨席いただき、臨時総代会を開催いたしました。

理事長挨拶 〈要約〉



理事長 森 英介

山武郡東部土地改良区との合併については9月24日に合併予備契約の調印を行い、山武郡東部土地改良区を吸収合併することになりました。両総用水事業は昭和18年に始まり24年の歳月を経て完成しております。既に施設の老朽化が始まったことや一期事業の経験から昭和58年臨時総代会において国営事業に着手する決議をいただいております。総代会決議から30年、平成5年から国の直轄事業により総事業費1,080億円で行われている国営両総土地改良事業ですが、来年度完了を目指し工事が行われております。

今年度の用水は7月から8月にかけて例年にない異常気象の中、安定的に水稻の収穫が出来たこと、両総事業を行った先人、先輩諸兄に感謝し、後世に引き継ぐ使命を改めて痛感する次第です。

今後の土地改良区の運営にご協力をお願いいたしまして挨拶とさせていただきます。

ご来賓挨拶 〈要約〉



農林水産省関東農政局両総農業水利事業所 所長 播磨 宗治様

事業完了まで残すところ1年半となり、現在、完了に必要な予算として29億円の要求を行っているところでございます。

歴史的大事業である本地区の完成にあたっては、貴重な資料等を後世に伝えられるようにしていくことが重要であると考え両総の歴史を記した資料などを1箇所保管し、広く一般住民や小学生の学習用に公開して、先人のご苦勞や本事業の価値を伝承したいと思っております。そこで皆様におかれましては、両総用水の歴史を記した資料や画像、写真などをお持ちでしたら是非ご提供いただけますようお願い申し上げます。また、両総の歴史について昔語りしていただけるようでしたら事業所にお越しいただき、お話していただければ幸いです。

今後とも皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。挨拶といたします。



千葉県農林水産部 次長 鈴木 大作様

9月24日には山武郡東部土地改良区との合併予備契約の調印式が開催されました。本合併を契機に県土地改良区の統合整備は更なる推進が期待され、この度の調印式に至ったご努力に対し、深く敬意を表する次第です。

さて、本県では千葉県統合計画を策定し農林水産部門での事業を進めております。

両総管内では、現在実施中の両総茂原南地区をはじめ、今後も採択が予定されている両総南条支線地区、松尾支線地区、西部幹線地区等に、より施設の整備・更新計画がされており、施設の充実や東日本大震災で被災を受けた施設の改修が進められていくものと考えております。

両総土地改良区の益々のご発展とご列席の皆様のご活躍とご健康をご祈念申し上げまして、挨拶とさせていただきます。